



ベネズエラで

何が起きているのか

大統領がふたり

1000万%のインフレ（IMF予測）

社会的混乱

経済制裁

独裁、不正選挙



ベネズエラとは



ミスワールド
ミスユニバース
ミスインターナショナル



(大使館HPより)



世界最高級のラム酒
カカオとチョコレート

有数の観光地

世界遺産

- ・ コロとその港 / カナイマ国立公園
- ・ カラカスの大学都市録

無形文化遺産

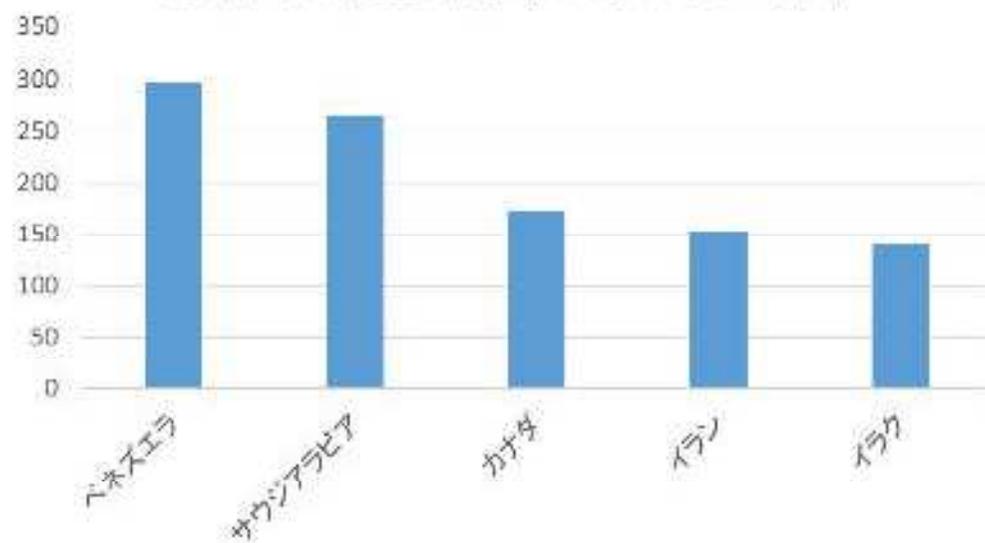
- ・ ベネズエラの踊る悪魔
- ・ グアレナスとグアティレの聖ペドロの祭り



石油埋蔵量 世界一



原油確認埋蔵量
(10億バレル、2014年、オイル&ガス・ジャーナル)



しかし、アメリカ資本と結びついた
一部の富裕層（オリガーキー）が富を独占
エクソンモービル等の欧米資本が石油採掘
貧困、格差、政権の腐敗



貧困層の圧倒的的支持を受けて、
1999年チャベス大統領誕生
(ボリーバル革命)



○ ブッシュ政権の戦争政策に反対

○ 革新的な貧困層対策に乗り出す

住宅ミッション

貧困層向けの住宅供給
スラム街の克服。



キューバから医療支援

豊かな石油資源を使って

バーター取引で医師や看護師

を受け入れ国民の生活を向上。

○ 米の支配からの離脱を目指すラ米諸国の中心

エルシステマ

誰もが平等に音楽教育を受けられることのできる
“音楽の社会活動”



ところが

チャベス大統領が2013年3月
がんのため急逝

マドゥーロ氏を後継者に指名

バスの運転手から、
暫定大統領、
そして、
選挙を経て、
4月大統領へ



チャベス氏の死をきっかけに 米とオリガーキーは攻勢に 経済戦争

- 物資の退蔵
- 反政府デモ
- 社会的騒乱
- ハイパーインフレ

ベネズエラの危機は米がつくりだしたものの

これに対しマドゥーロ政権は

C L A P 食料品配給制度

(2016年4月～)

貧困層向けの住宅建設
などで生活を保障



2019年1月10日
2期目の大統領就任式



ところが、前代未聞のクーデタ

1月23日の野党集会で
突然、「国民議会」議長グアイド氏が、
「私が大統領だ」と宣言。

即日トランプ大統領が支持。
カナダや欧州議会も支持。

これに対して、中国やロシア、キューバ、
ニカラグアなどはマドゥーロ大統領を支持

あたかもベネズエラに
大統領が二人いるかのようなプロパガンダ

グアイドとは

- ・ 国民議会議長
（輪番制、たまたま議長）
- ・ 野党第4党大衆意志党のNo.3
- ・ ベネズエラの世論調査で、
81%の人が「知らない」
- ・ 12月に渡米
そこで、大統領選に出るよう要請される？
- ・ 1月22日にペンス副大統領から電話。
- ・ 同日「マドゥーロが大統領。米からのプレッシャーに困惑している」とこぼす。
（セイコウイシカワ大使会見）



2018年5月大統領選

マドゥーロ氏が624万票獲得で圧勝
(野党ファルコン氏193万票)

米は内政干渉でボイコット呼びかけ。
しかし野党は分裂して一部が選挙に参加。
米は、大統領選を不正と非難。

※150人の選挙監視団。不正はなかったと報告。

※1月10日にマドゥーロ氏が大統領二期目に就任

1 2月に米のマドゥーロ政権転覆計画が暴露

□ 野党による大統領選で追い落とし

□ 大統領暗殺
昨年8月にドローンで
演説中のマドゥーロ氏の
暗殺を企てる

□ 暫定政府評議会の設置
今回の動きはこれ。

□ これらに連動に、米国の直接の軍事介入



グアイドの茶番が認められてるのは

(1) メディアのおかしな報道！！

「ベネズエラに二人の大統領で混乱」

「マドゥーロ大統領は、暫定大統領との協議には応じる姿勢を示しましたが、大統領を退くことは拒否しました」

(2) 米国、カナダと欧州諸国の一部、中南米の親米諸国（ブラジル、コロンビアなど）がグアイドを大統領と認める。

フェイクニュースで世論操作

しかしうまく行っていない

- そもそも憲法違反で、何の正当性もない。
- 米国はOAS米州機構で、グアイドを大統領と認める決議をとろうとしたが、否決。
34カ国中16国しか賛成なし。
親米諸国も反対。
- 1月28日、カリブの15カ国が国連事務総長と会談し、マドゥーロ政権を支持することを確認。

米の動き

- ・ 経済制裁
国営ベネズエラ石油（PDVSA）の口座を
差し押さえ。この管理をグアイドに引き渡し。
- ・ 軍事介入の危険性
「あらゆる選択肢」（トランプ大統領）
- ・ 5000人の軍をコロンビア国境に派遣

マドゥーロ政権の対応

- ・ 経済制裁への対抗
埋蔵金による決済
中国やロシアとの石油による現物決済。
- ・ 最高裁がグアイドの口座差し押さえ
- ・ パドリーノ国防相が野党のクーデタを非難し、憲法と主権を守ると宣誓。マドゥーロ政権への支持を表明。



イシカワ大使記者会見 (2/1)

- ・ 米の軍事介入を警戒

経済制裁で締め上げ、野党を使って政治的混乱を作り出し、それを口実に軍事介入する危険性。

- ・ 対話を模索

2月7日、ウルグアイで国際会議。どう対話を進めるか。米に介入の口実を与えない。

- ・ 超インフレ、物不足、難民等困難はある。

しかしそれは、米による経済制裁が原因。

- ・ 国連人権委員会の査察で、高い評価。



数週間から一ヶ月
情勢が緊迫。
国際政治の最大の焦点。

対話による平和的解決に持ち込
むために、国際世論が必要。

米はクーデタ策動をやめよ！
の声を広げよう。